



課題の多い土地開発公社所有用地

(平岡原)

農業特区設立の考えは

農業団体の意見を聞き対応



遠藤 正 議員

質問 農業課題の解決策として、法人などの参入による農業特区設立の考えはあるか。

答弁 町としては不耕作地に限り、法人が取得することは農地保全に貢献できると考えますが、優良農地の取得については、資金力に勝る法人が既存農家に大きな影響を及ぼす可能性があります。農業団体の意見を聞き対応していきたいと考えています。

農業特区の利用形態としては、市民農園的なものが多いようです。



エンジェル 千代子 議員

質問 なされた事業に対する評価を制度化すべきと思うが。

答弁 行政評価については導入に至っていません。改革項目についての評価を年度の中間と終了時点で行い、行政改革推進委員会に報告しています。また、各課の主要な事務事業についての進捗状況の報告を毎月行い、評価をしています。

行政経営をより効率化するために、行政評価の導入をしていきます。

行政評価の制度化を
制度を導入していく住民を巻き込む手法で
住民との協働を目指す

質問 これからのまちづくりは住民を巻き込んでいく手法が必要と思うが。

答弁 行政の動きは、目に見えないまでに時間がかかってしまう事を承知してもらいたいと思います。町づくり係にはいくつかの課題を与えています。が、住民との協働の動きを目指しています。

庁内では「やらざネット」を設けて、職員も住民の中に入ろう、住民のお知恵を頂こうと考えて模索しています。

土地開発公社のあり方は
課題が多く存在している

質問 土地開発公社のあり方について、今後どのようにすべきと考えているか。

答弁 土地開発公社は、「公用地の取得・管理などを行うことにより、富士見町の

秩序ある整備と町民福祉の増進に寄与すること」を目的に設立されました。

売れない土地を抱えていることに問題がないとは言えませんが、今これを清算して町が業務をすべて抱え込むことはもっと課題が多く、直ちに結論をだせる問題ではありません。